

# ERE information

Vol. 10 2006年9月8日発行

発行 / 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者 / 松崎 英樹  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 / 電話(03) 3267 - 4819 / e-mail:info@ere.or.jp

## Contents

- ▶大学院の入学選抜試験にERE導入
- ▶第10回 E R E ( 経済学検定試験 ) 試験結果
- ▶第6回大学対抗戦について
- ▶EREの長所と使い方：継続受験こそ大切 / 大東一郎・東北大学大学院国際文化研究所助教授
- ▶事務局からのご連絡

## ▶大学院の入学選抜試験にERE導入

### 【明治学院大学】

明治学院大学では、2007年度の大学院経済学研究科(前期博士課程)の一般入試においてEREのうち『EREミクロ・マクロ』を導入することとなりました。これにより同大学院の一般入試の方法は、次の3つになり、受験生は、出願時に下記入試方法の一つを選択することになります。

- (1) 方式 a  
英語、専門科目1問(選抜)、口述試験
- (2) 方式 b  
『EREミクロ・マクロ』のスコアが「B」以上の者  
英語・口述試験
- (3) 方式 c  
卒業論文提出者  
英語・口述試験

方式 a では英語・専門科目を、方式 b・c では英語を1次試験として、1次試験に合格した受験生のみが同日に2次試験の口述試験が実施されます。

### 【拓殖大学】

拓殖大学では、2007年度の大学院経済学研究科(前期博士課程)の入学選抜試験(本年9月、来年1月実施)より『ERE』『EREミクロ・マクロ』を導入することとなりました。同大学院の選抜方法は、論文試験・外国語試験に大別されますが、論文試験3科目(ミクロ経済学、マクロ経済学、時事経済)のうち、2科目の選択を求めており、ミクロ経済学、マクロ経済学を選んだ場合、受験成績と『ERE』あるいは『EREミクロ・マクロ』の当該成績との比較でよい方を採用する方式です。

## ▶第10回 E R E（経済学検定試験）試験結果

2006年7月2日(日)に実施いたしました第10回 E R E / E R E ミクロ・マクロの成績結果等がまとまりましたので、発表いたします。今回、経済産業省の方を初め一般社会人の方が上位にランクインし、出題分野である時事経済においては満点を獲得するなど、優秀な成績をおさめられたのが、特徴の一つとしてあげられます。

今回の成績概要は下記のとおりですが、全体の平均点につきましては、「E R E」が429.8点（前年同期比 56.1点）、「E R E ミクロ・マクロ」が196.3点（前年同期比 12.4点）と、ともにやや低めに推移しています。なお、前回との比較については、下記資料を参照ください。

### 《資料1 - 1》科目別成績

#### 『E R E』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学	時事経済
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点	100点
平均点	102.5点	113.5点	48.5点	33.4点	50.8点	36.7点	44.3点
(前回)	125.3点	119.9点	55.3点	42.3点	50.6点	41.9点	41.9点
標準偏差	47.04点	47.59点	17.57点	17.60点	19.18点	16.34点	18.08点
(前回)	38.00点	42.16点	18.58点	18.87点	20.03点	17.51点	19.26点

### 《資料1 - 2》

#### 『E R E ミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	94.4点	101.8点
(前回)	108.3点	96.3点
標準偏差	38.01点	39.98点
(前回)	29.77点	30.38点

### 《資料2》成績概要

	E R E	E R E ミクロ・マクロ
応募者数	215名	731名
受験者数	156名	584名
平均点	429.8点	196.3点
標準偏差	134.02点	69.79点
最高得点	800点	460点
最低得点	150点	70点

### 《資料3》団体別応募状況

E R E / E R E ミクロ・マクロ			
①立命館大学	59名	⑰京都大学	16名
②弘前大学	51名	⑱広島修道大学	15名
③早稲田大学	47名	⑲近畿大学	14名
④福岡カレッジ・オブ・ビジネス	46名	⑳高崎経済大学	13名
⑤慶應義塾大学	37名	㉑埼玉大学	13名
⑥大阪経済大学	32名	㉒群馬大学	11名
⑦関東学院大学	27名	㉓北海道大学	11名
⑧新潟大学	27名	㉔一橋大学	10名
⑨大阪商業大学	25名	㉔甲南大学	10名
⑨酪農学園大学	25名	㉔神戸大学	10名
⑪法政大学	24名	㉔東京大学	10名
⑫長崎県立大学	23名	㉔明治大学	10名
⑬同志社大学	20名	㉔和歌山大学	10名
⑭久留米大学	19名	㉔中央大学	10名
⑮九州産業大学	18名	㉔大阪大学	10名
⑮明海大学	18名		

#### 《資料4》ERE上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	熊本壺溪塾学園	大学受験科・公務員専攻科	矢 住 勝 大	S
2	九州大学	経済学部	花 田 正 剛	S
3	慶應義塾大学	商学部	酒 本 隆 太	A+
3			大 塚 剛 史	A+
3	双日	企画業務室	土 田 毅	A+
6	一橋大学	法学部	藤 原 勇 平	A+
7	新潟大学	経済学部	渡 辺 一 博	A+
8	早稲田大学	政治経済学部	是 枝 俊 悟	A+
8	神戸大学大学院	経済学研究科	井 田 大 輔	A+
8	九州大学	農学部	高 田 将 成	A+
11	埼玉大学	経済学部	大 谷 昌 弘	A+
12	経済産業省	企業統計室	青 木 健 一	A+
12	浜銀総合研究所	企画総務部	祝 朋 宏	A+
14	J・出版	編集部	藤 川 敏 昭	A+
15	立命館大学	経済学部	堀 口 勇 介	A+
16	一橋大学	商学部	原 田 峻 平	A
16			清 水 邦 敏	A
18	慶應義塾大学	商学部	土 田 剛 史	A
18			飯 塚 裕	A
18	大阪大学	経済学部	大 瀧 逸 朗	A
21	一橋大学	経済学部	水 野 真 司	A
21	前川公認会計士事務所	富山大学	前 川 克 博	A
21	立命館大学	経済学部	浦 上 大 輔	A

#### 《資料5》EREミクロ・マクロ上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1			坂 倉 新 二	S
2			森 聡 彦	S
3	大阪大学	経済学部	日 野 景 介	S
3	埼玉大学	経済学部	瀬 川 文 司 郎	S
5	高崎経済大学	経済学部	楊 瀟 瀟	S
5	第三銀行	経済研究所	西 村 和 浩	S
5	大阪商業大学	経済学部	石 井 秀 治	S

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
8	早稲田大学	政治経済学部	十 川 明 徳	S
9			村 田 光 司	S
10	北海道大学	農学部	田 宜 和 樹	S
10	明治大学	商学部	大 塚 宏 貴	S
10	東京大学	農学部	蜂 巢 真由美	S
10	横浜国立大学	経済学部	本 多 純	S
10	北九州市立大学	経済学部	竹 内 俊 文	S
15	慶應義塾大学	経済学部	宮 嶋 貴 之	S
15	上智大学大学院	地球環境学研究科	小 村 哲 也	S
15	新潟大学	経済学部	古 川 虎太郎	S
15	大阪大学大学院	経済学研究科	木 下 祐 輔	S
15	大栄教育システム		板 東 拓 也	S
20	明治安田生命保険	運用企画部	浅 田 直 樹	A+
20	早稲田大学	政治経済学部	青 島 洋 一	A+
20	早稲田大学	政治経済学部	森 本 晃 司	A+
23	高崎経済大学	経済学部	柴 田 勝 幸	A+
23	東京都立大学	経済学部	坂 東 義 徳	A+
23	東京都庁	財務局主計部	中 村 昌 平	A+
23			（非 公 開）	A+
23	早稲田大学	政治経済学部	瀧 澤 祐 太	A+
23	新潟大学	経済学部	深 浦 悠 希	A+
23	立命館大学	経済学部	久 島 雄 貴	A+
23	関西大学	経済学部	家 鋪 貴 広	A+
23	久留米大学	経済学部	小 山 大 輔	A+
32	小樽商科大学	商学部	岩 佐 瑞 穂	A+
32	東京大学	農学部	松 岡 裕 介	A+
32			鈴 木 正 人	A+
32			一 條 岳 人	A+
32	京都大学	経済学部	神 戸 誠	A+
32	和歌山大学	経済学部	佃 直 樹	A+

## ▶第6回大学対抗戦について

### 《参加資格》

大学・大学院・専門学校に所属する学生を主体とするゼミ・サークル等の団体で、1チームのエントリーメンバー数は5名以上9名以内とします。なお、第6回よりエントリー・チームのメンバーはすべて学(院)生により構成することとなりましたので、お申込みの際、ご注意ください。

### 《対戦方法》

『ERE/EREミクロ・マクロ』のミクロ経済学・マクロ経済学の2科目の成績で判定します。5名から9名の成績のうち、上位4名までの総合点で順位を決定します。

### 《表彰等》

【優勝チーム】 賞状と記念品(受験者全員に図書カード)を授与します。また、副賞として「ダイヤモンド賞」(ダイヤモンド社より『週刊ダイヤモンド』を受験者全員に半年間贈呈)を授与します。

【準優勝チーム】 賞状を授与します。また、副賞として「経済セミナー賞」(日本評論社より月刊誌『経済セミナー』を受験者全員に半年間贈呈)を授与します。

【個人賞】 『ERE/EREミクロ・マクロ』のSランク取得者には、「日経賞」(日本経済新聞社より『日本経済新聞』購読券半年間分・『やさしい日経経済用語辞典』を贈呈)を授与します。

また、個人成績上位10名までの方に、「ファイナンシャル・プランナーズ賞」(NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会より『FPジャーナル』を半年間贈呈)を授与します。さらに上位5名までの方には、「金融知力賞」(NPO法人金融知力普及協会より、金融知力の初級通信講座『グラウンド・ステージ』の受講票を贈呈)を授与します。

### 第6回 大学対抗戦

第11回 ERE/EREミクロ・マクロ 2006年12月3日(日)において実施

受付期間: 2006年9月18日(月)~2006年10月20日(金) 消印有効

詳細: <http://www.ere.or.jp/taikousen/taikousen.pdf>

### 私たちの夢は始まったばかり~EREトップ・「大学対抗戦」個人賞トップ

第10回EREでのトップ達成を嬉しく思います。初受験後のインタビューで“いつかは全国のトップを!”と語った夢のひとつを実現できたわけですから。

しかし、これは私たちにとっては始まりに過ぎません。

全国の名門大学に散らばっていった元教え子たちと高いレベルで競り合い、「成績優秀者リストを占拠する」という夢。直接、公務員受験対策を指導する生徒たちだけで編成するチームを、次回以降の大学対抗戦においても各名門大学のチームを上回る好成績を確保できるよう徹底して鍛えあげ、「栄光の歴史を継承させる」という夢。これは私事ですが、現在のEREの好成績を維持しつつ、公認会計士試験の論文式試験にも最終合格するべく、「さらに自分自身を鍛え上げる」という夢.....。

私たちの夢も、そして私自身の夢も、始まったばかりです。

(矢住 勝大 熊本壺溪塾学園 大学受験科公務員専攻科)

# EREの長所と使い方：継続受験こそ大切

大東一郎・東北大学大学院国際文化研究科助教授

現代の経済学は国際的にはほぼ共通化された知識体系をもっている。学生の立場から見れば、経済学は、どこの大学に通っているか、どの先生に習ったかという個別事情を超えて、自分自身の努力で理解力を高められるチャンスのある大きな学問分野である。

## 1 EREの特徴

EREは、こうした経済学の基礎的理解・知識を素直に問う正統的な良問が毎回バランスよく出題されている検定試験である。いわゆるひっかけ問題を排し、経済学の真の実力を問うような問題が多いのが最大の長所といえるだろう。この点でEREは、経済学を学ぶ学生・社会人にとって自分の実力を的確に測ることができ、したがって高得点を取れるようになることで経済学の実力向上が図れるという、適切かつ有意義な検定試験となっている。

これを反映して、全国の大学経済学部の教育や大学院入試でも、EREの得点を活用する試みが増えてきている。各大学の先生方からも、主に経済学部を卒業していく学生を対象とした有益な提案がよく出されているようである。ここでは、EREが社会的にさらに認知・活用されるために、「継続受験」を推奨することが大切だということを強調させていただき、経済学教員の方々の参考に供したい。

## 2 ERE継続受験の意義

第1に、学生の就職に際してEREの得点・ランクを役立ちやすくするためには、「継続受験」して得点の向上記録を残すことを重視するのがよい。

企業に就職する場合、経済学の知識は直接に日常業務で使うわけではないことが多い。そのため1、2回受験してどんな成績を収めたかを示すだけでは、企業の人事担当者にはあまりアピールできないことがある。雇用情勢が改善してくるにつれ、学生の将来性を見通して採用を決めたいとする企業は、学生が「いまどのくらいのことが出来るか」より、「いまできない仕事を近い将来できるようになる能力が高いか」を再び重視するようになるだろう。そこで、年2回のEREを4回受験すれば2年かかるが、その間に成績が向上していく記録を示すことで、学生は「自分で自分を教育する能力が高い人材である」ことを客観的に証明することができる。

さらにEREの出題レベルは安定しているから、ともすれば教員との相性にも左右される大学の成績より、信頼できるデータとなる可能性も高いだろう。EREは、学力がついてから良い得点を取るために受験するばかりではなく、一定量の勉強ができたらどんどん受験してもらい毎回の得点の向上を励みにしてさらに勉強を積んでいくという使い方をするのがよいだろう。

### 3 留学生とERE

第2に、EREには、増加しているアジア地域からの留学生に対して習得すべき経済学の知識体系を具体的に提示できるというメリットもあるように思う。

アジア地域の大学を卒業した後に日本の大学院への進学を希望する人が近年増加しており、経済の勉強・研究を志している人たちも少なくない。しかし、本国内で経済関係の学部を卒業しても、国際的スタンダードとなっている経済学の知識体系がどのようなものかを知らない人たちも多いのが現状である。そこで、大学院受験準備としてEREで高得点をあげるよう推奨することは、具体的な勉強の指針として役立つのではないか。この場合にも、1回だけよりは3、4回以上の継続受験によって実力の向上を図ってもらうことが大切である（受験料の留学生割引も考えられる）。

留学生に受験を推奨することは、ERE受験者数全体の増加という面では大きな効果は期待できないかもしれない。しかし、長期的な視点に立てば、日本での勉学を終えて帰国した後に、彼らが経済学や産業界の先導者となるとともにアジア諸国での経済学教育の内容が改善されてくることも期待できるだろう。さらにもし各国でEREのような経済学検定試験を作ろうという試みがなされるなら、経済学の知見をこれまで以上に広く国際社会に役立てられる可能性も広がるのかもしれない。



## ▶事務局からのご連絡

大学対抗戦の参加資格の一部変更について

いままで(第5回大学対抗戦まで)、大学対抗戦にエントリーする際、1チーム当り1名の教員をメンバーに含むことができましたが、第6回大学対抗戦(12月実施)より参加資格を改め、エントリー・チームのメンバーはすべて学(院)生により構成することとなりましたので、お申込みの際、ご注意ください。

第11回 E R E (経済学検定試験)実施要綱

### 『E R E』実施要綱

実施回	第 11 回
試験日	2006年12月3日(日)
試験時間	午後1時00分～午後4時00分(180分)
受付期間	2006年9月18日(月)～2006年10月20日(金) 消印有効
受験料	5,250円(税込)
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学/財政学/金融論/国際経済/統計学/時事経済
出題形式	4択一式/100問,1問10点,1,000点満点
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明証(学生証・運転免許証・パスポート等)

### 『E R Eミクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第 11 回
試験日	2006年12月3日(日)
試験時間	午後1時00分～午後2時30分(90分)
受付期間	2006年9月18日(月)～2006年10月20日(金) 消印有効
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学(注)
受験料	3,150円(税込)
出題形式	4択一式/50問,1問10点,500点満点
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明証(学生証・運転免許証・パスポート等)

(注)『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。